

# 令和8年 事業概要

衣浦港



令和6年2月撮影

三河港

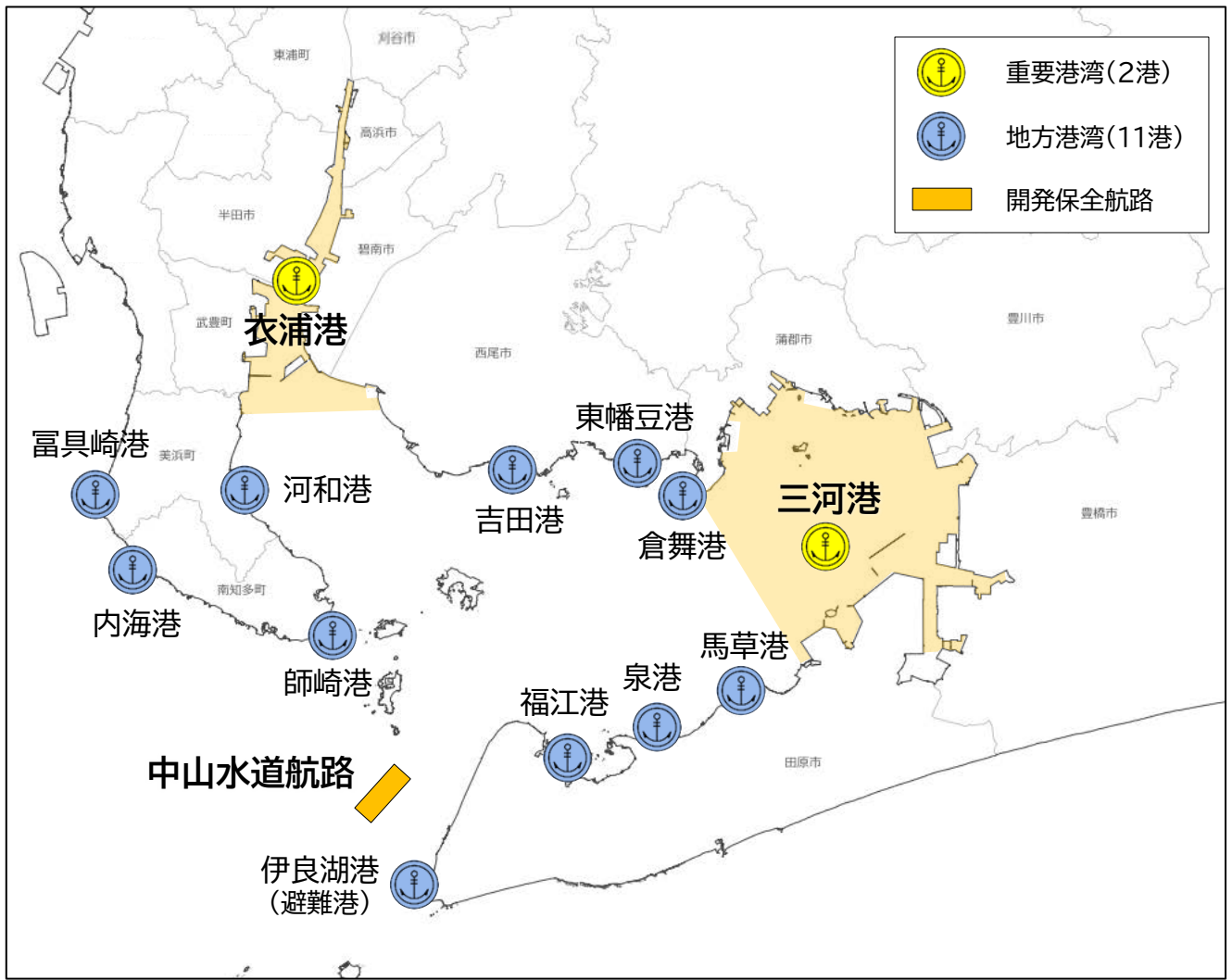


令和7年2月撮影

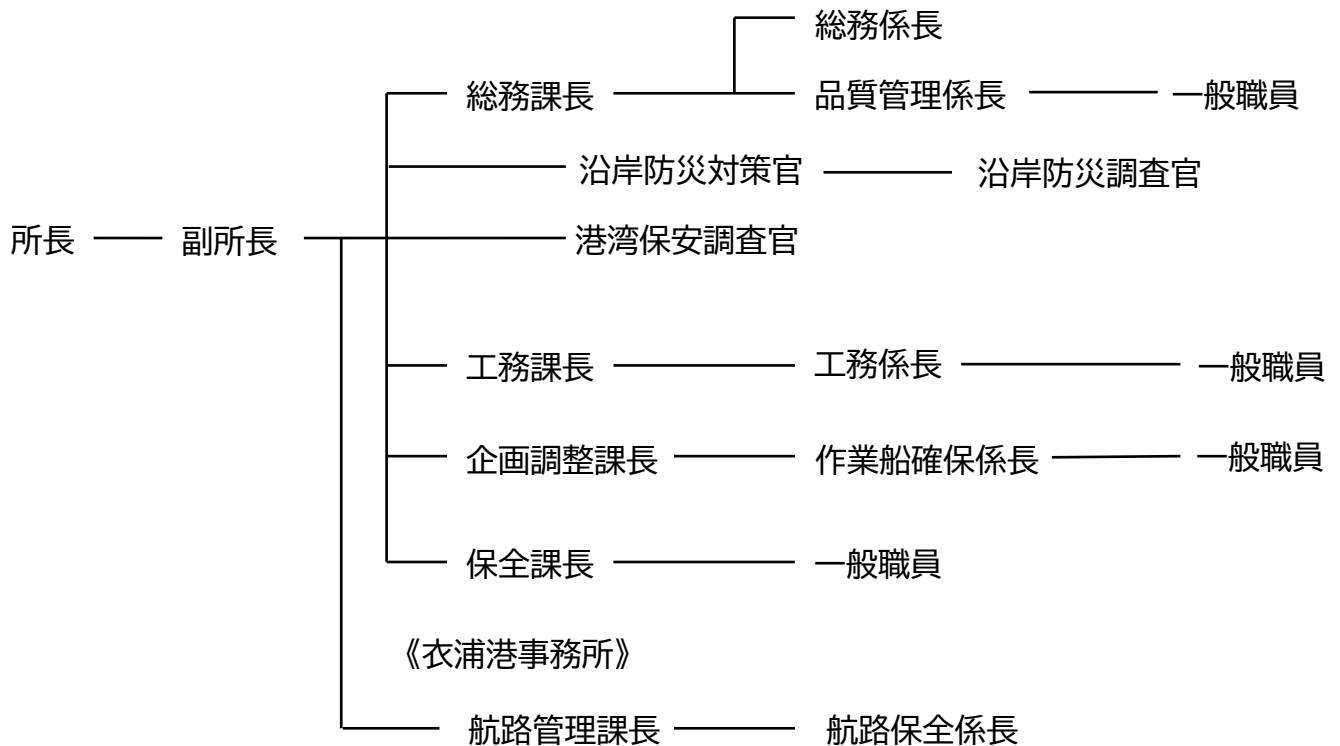
令和8年4月

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所

# 1.三河港湾事務所管内図



# 2.三河港湾事務所の組織体制



### 3. 予算

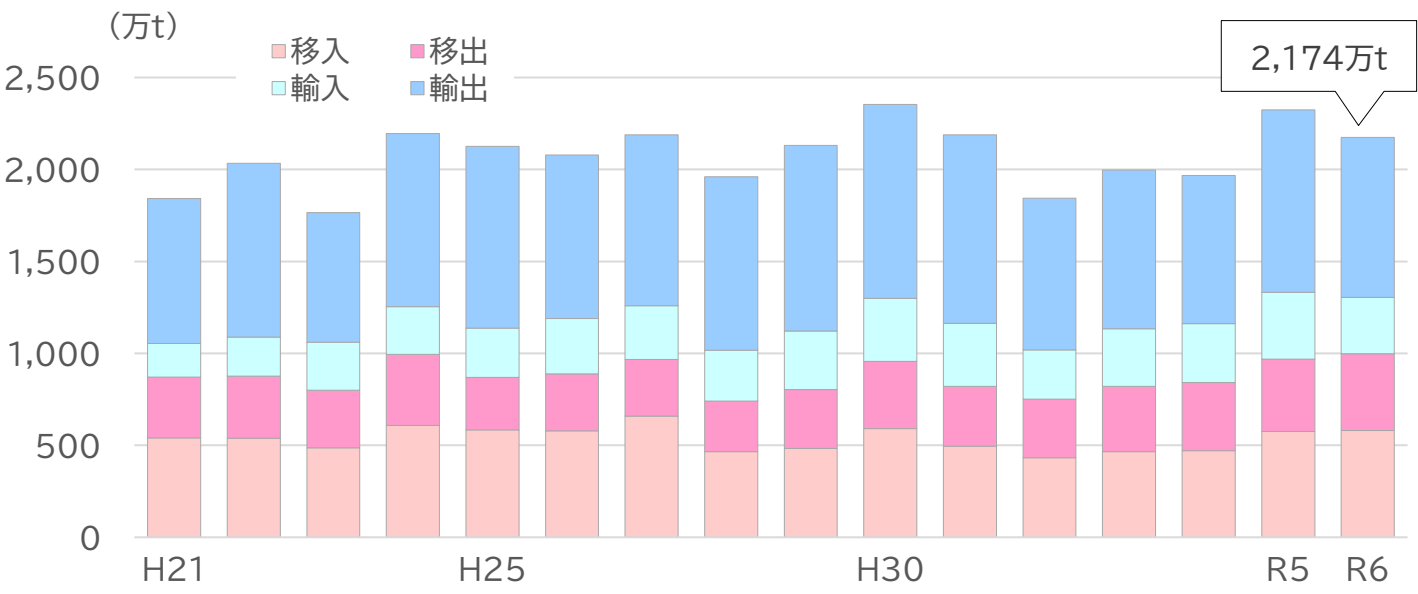
港名	事業費(百万円)						施設名
	令和7年度			令和8年度			
	R6 補正	R7 当初	計	R7 補正	R8 当初	計	
三河港	—	430	430	135	385	520	・岸壁(水深10m)②
衣浦港	395	306	701	60	378	438	・岸壁(水深12m) ・西防波堤
中山水道航路	—	130	130	—	135	135	・航路(水深14m)
合計	395	866	1,261	195	898	1,093	

### 4. 背後圏の道路ネットワーク

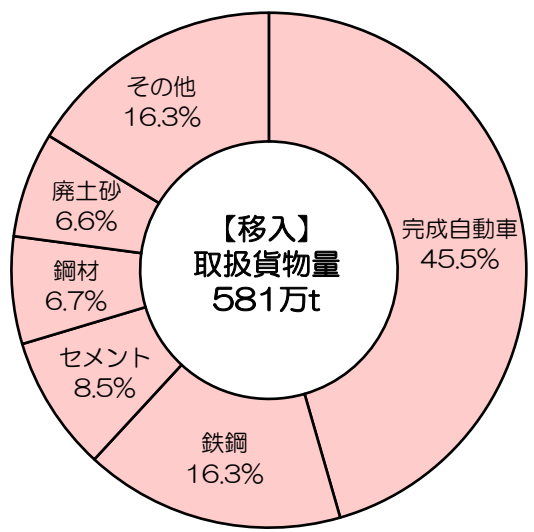
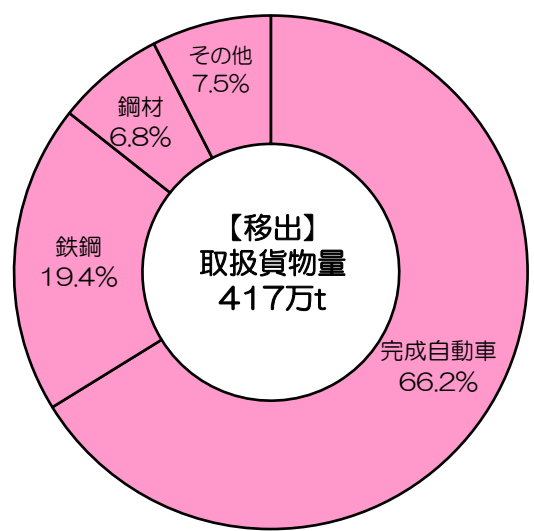
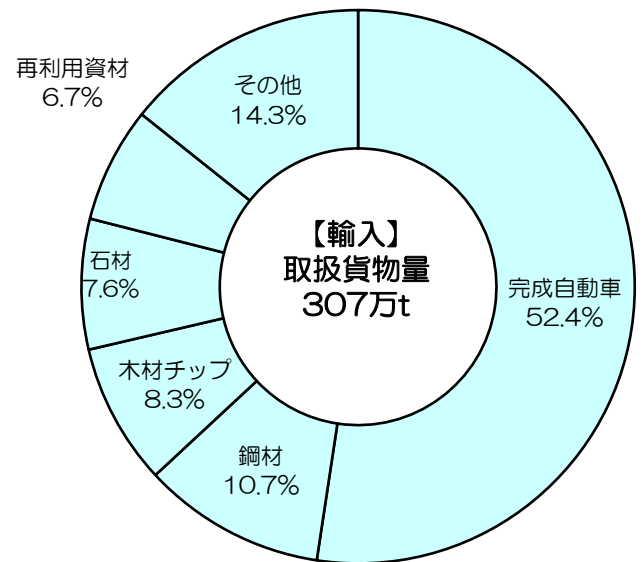
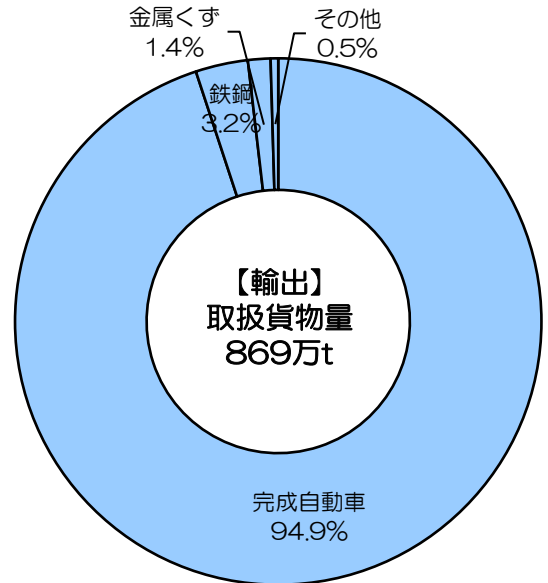


# 5.三河港の港勢

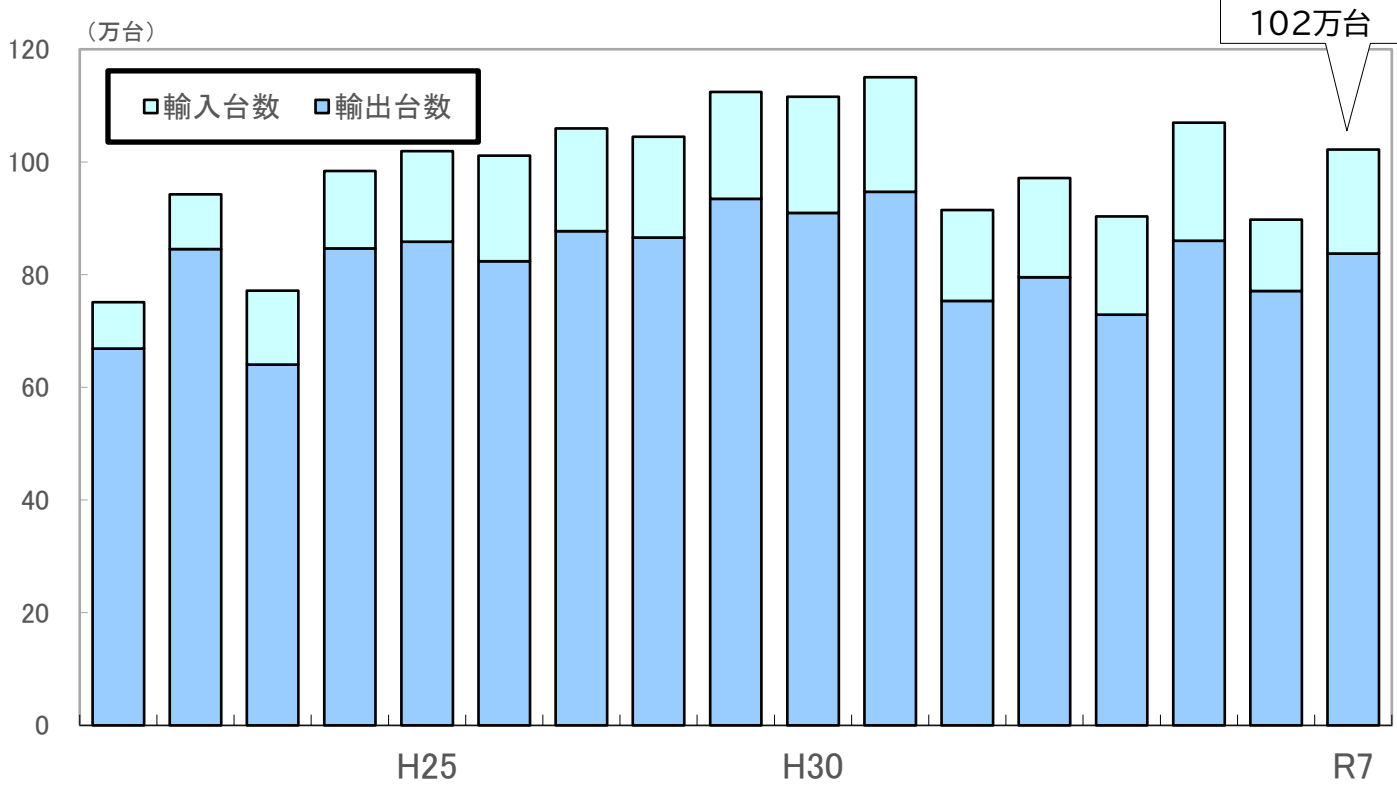
## 取扱貨物量の推移



## 取扱貨物の品種別割合(令和6年)



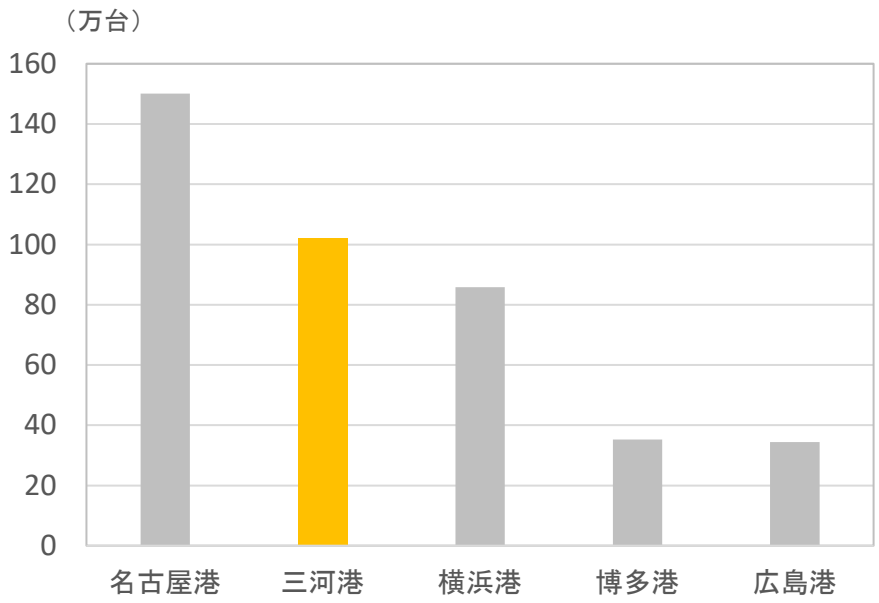
# 完成自動車の取扱状況(令和7年速報値)



資料:財務省貿易統計をもとに中部地方整備局作成

輸入台数 18万台 全国1位      輸出台数 83万台 全国2位

## 日本の港湾の完成自動車取扱台数 上位5港(令和7年速報値)



資料:財務省貿易統計をもとに中部地方整備局作成



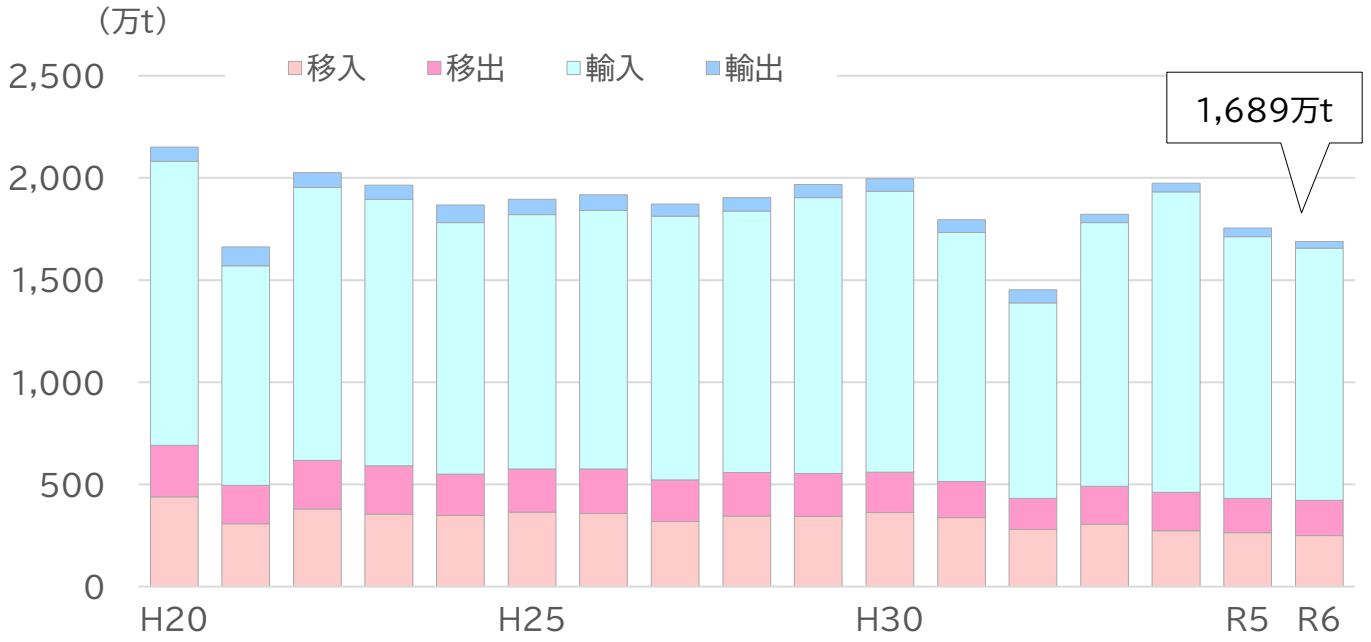
モータープール(神野地区)



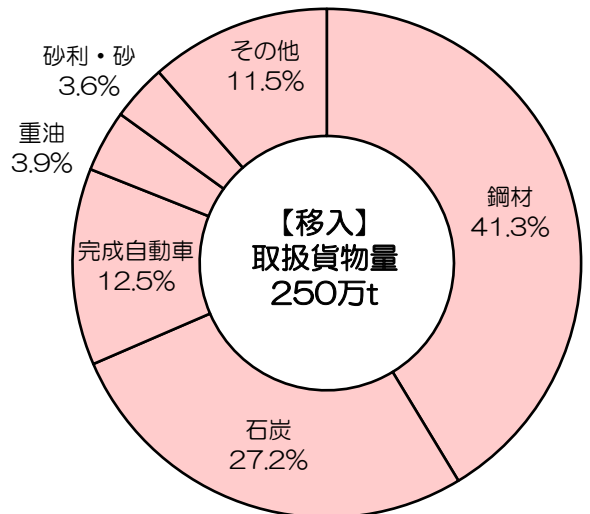
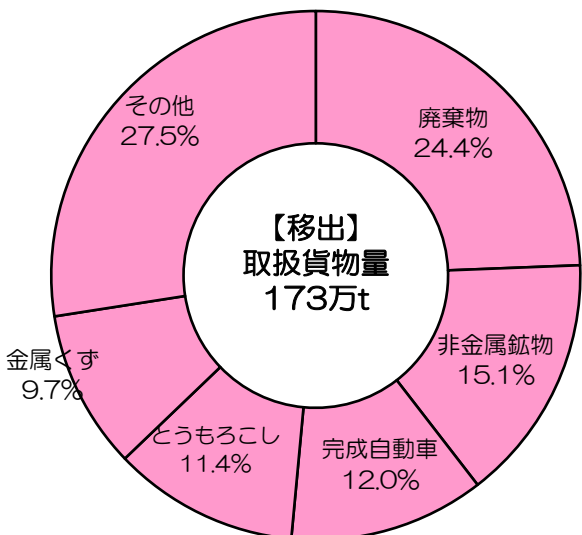
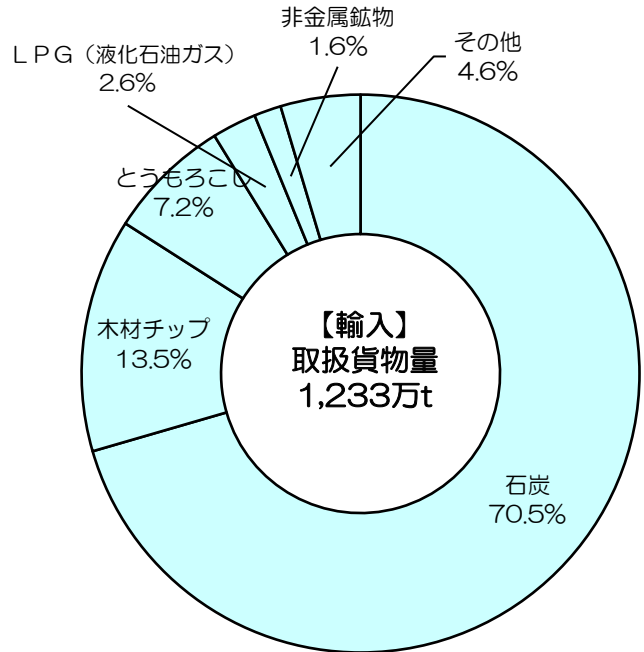
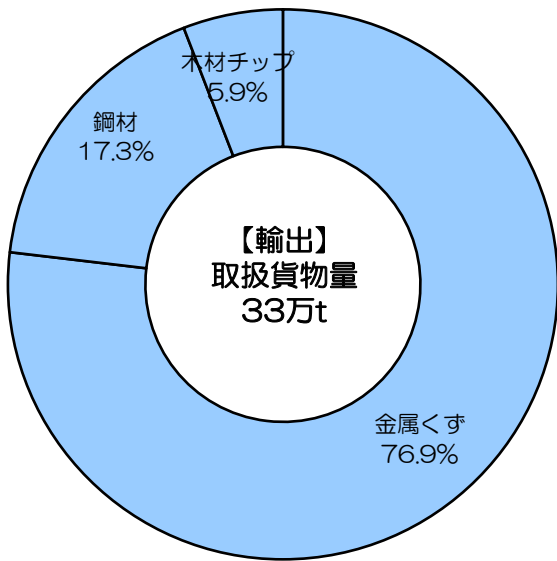
荷役の様子

# 6.衣浦港の港勢

## 取扱貨物量の推移

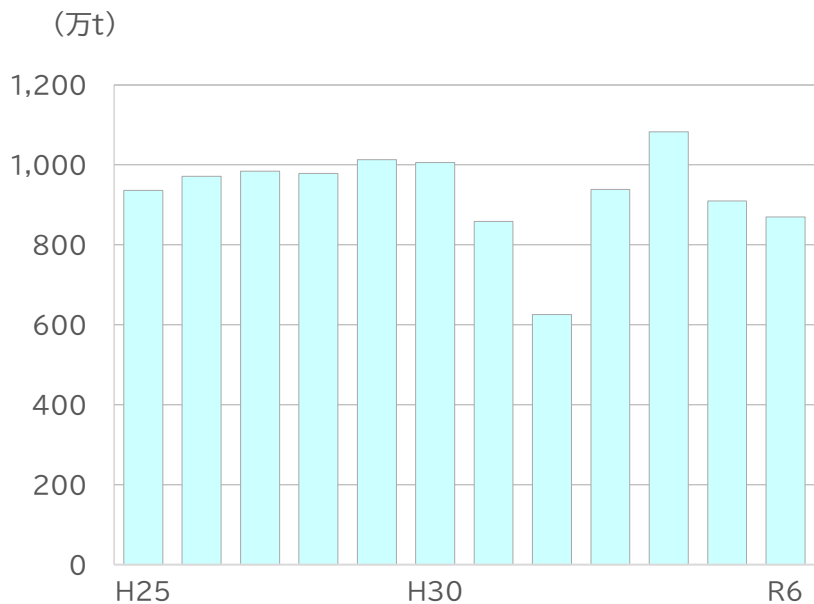


## 取扱貨物の品種別割合(令和6年)



# 主要取扱貨物の動向

## 石炭の取扱貨物量(輸入)の推移



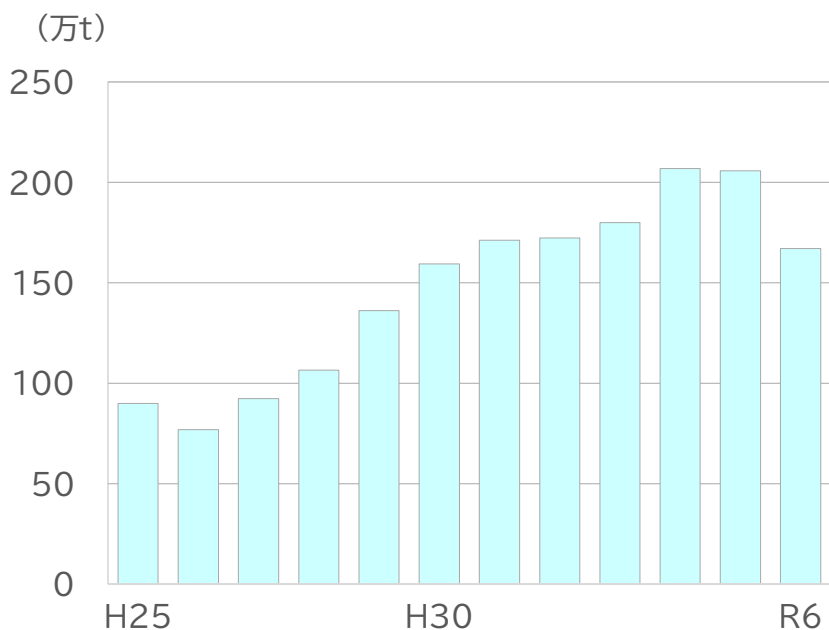
資料: 港湾統計(年報)をもとに中部地方整備局作成

石炭 輸入量(令和6年)  
870万t



荷役の様子(石炭)

## 木材チップの取扱貨物量(輸入)の推移



資料: 港湾統計(年報)をもとに中部地方整備局作成

木材チップ 輸入量(令和6年)  
170万t



荷役の様子(木材チップ)

### 3. 港湾施設の老朽化対策の推進

#### 【施策の目的】

我が国の港湾施設は高度経済成長期に集中的に整備され、今後建設後50年近くを迎える施設の割合が加速度的に増え、維持・更新費用の増大が見込まれます。そのため、維持・更新費の縮減を図りつつ港湾施設が将来に渡りその機能を発揮できるよう、予防保全型管理の維持管理への本格転換を図るため、計画的・戦略的な老朽化対策を推進します。

#### 【予防保全事業】

##### 〔三河港〕

○岸壁(水深10m)(改良)②<4-1号~4-3号>

当岸壁は、鉄鋼、セメントや完成自動車などを多く扱っています。

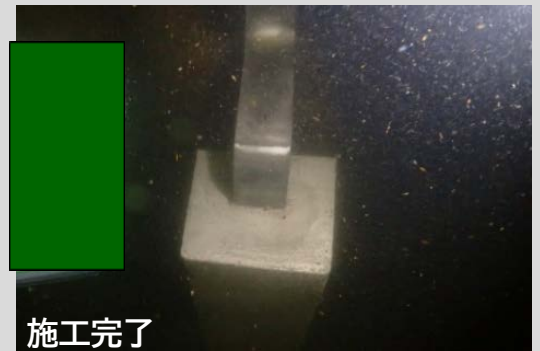
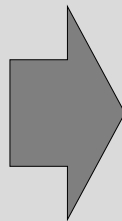
耐用年数が30年で設計されているものの建設後50年近くが経過し老朽化が進行しており早期の対応が必要なため対策を実施中です。

#### 岸壁の利用状況

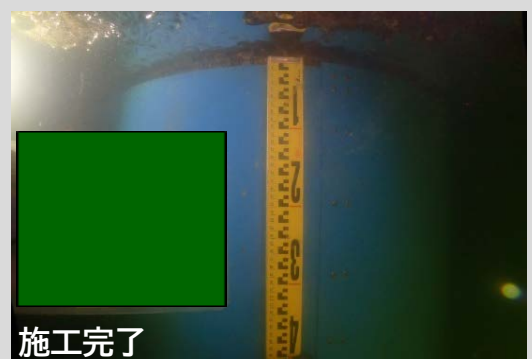
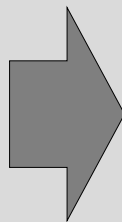


#### 【施工状況】

##### 〔電気防食工〕



##### 〔被覆防食工〕



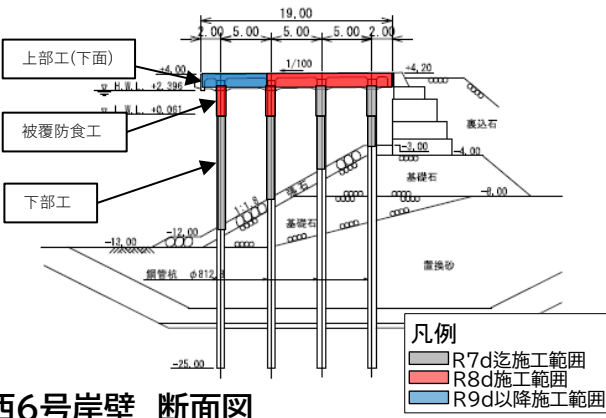
# [衣浦港]

## ○西6号岸壁(水深12m)(改良)

当岸壁は、木材チップなどの貨物を多く扱っています。完成から約50年が経過しており老朽化による損傷が著しいため、対策を実施しています。

## ○西防波堤(改良)

西防波堤は、伊勢湾台風による被災、今後の港湾機能の拡充を図るために整備され、建設後約60年が経過し、老朽化による損傷や大規模地震発生後の高潮への防護効果確保のために、老朽化対策に合わせ改良を実施しています。



# [現場写真]

## [西6号岸壁(水深12m)(改良)]



## [西防波堤(改良)]



# 4. 中山水道航路

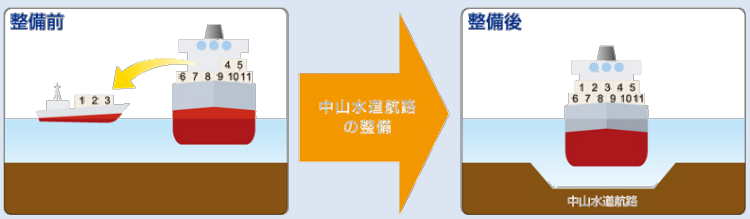
## 【整備目的】

中山水道は三河湾の湾口部に位置し、三河湾諸港へ出入港する海上交通の要衝です。しかし、浅瀬(最浅地点水深8.6m)や暗礁が点在するため、大型船舶の航行が制限され、経済的な運行に支障をきたしていました。

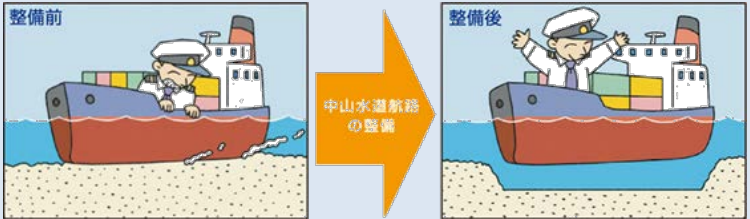
また、付近は三河湾・伊勢湾に出入りする船舶が合流し分流する地点で、船舶が複雑に航行する海域であることに加え、伊勢湾内屈指の好漁場で漁船の操業の場となっていたことから海難事故の危険性が高い海域でした。

このことから、中山水道航路の整備が求められ、平成元年に開発保全航路として中山水道航路が政令指定され、平成16年に整備が完了しました。

## 【整備効果】



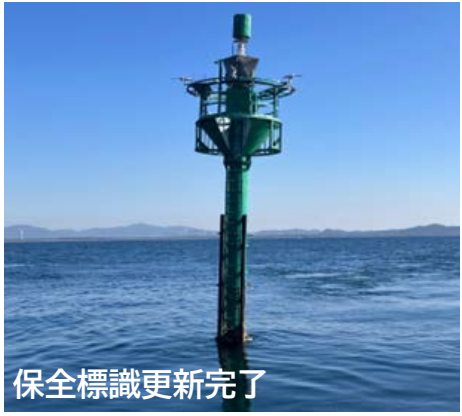
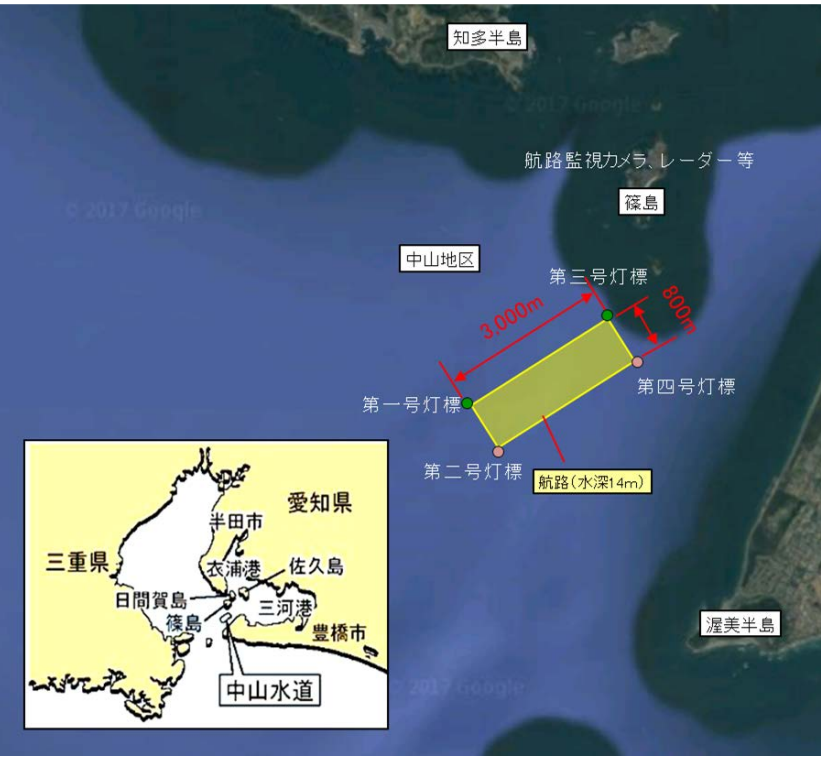
喫水調整による非効率な輸送を改善することができ、輸送費の抑制にも寄与することができます。



船底を損傷するといった不安が解消され、船舶が安心して航行できるようになります。

## 【保全事業】

中山水道航路の整備完了後は管理・保全を行っています。航路の四隅にある保全標識の管理、保守・点検及び航路内の違反行為(不法投棄、船舶の放置、不許可による水域占用や土砂採取等)を未然に防止するため、カメラによる監視やパトロール、自然条件による航路の埋没を事前に把握するための管理測量等を行っています。また、保全標識の設置から15年以上が経過し、保全標識や計器の劣化が確認されていることから保全標識の計画的な更新を進めています。



## ■港湾計画改訂に向けた取組

愛知県は、急速に変化する社会情勢及び港湾への要請に応じていくため、令和元年度より三河港湾計画の改訂作業に着手しました。

令和7年3月に三河港及び背後地域の現状を認識し、三河港を取り巻く新たな動きや将来の環境変化に対応し、長期的な将来像と港湾空間の開発・利用及び保全に関する事項など港湾計画の改訂案について検討するために三河港港湾計画検討委員会(第4回委員会、第6回幹事会合同)を開催しました。

そして港湾管理者である愛知県は、令和7年5月8日に港湾計画に先立ち、港湾関係者の意見・要請をもとに、おおむね30年後の将来像やその実現に向けた空間利用計画などを取りまとめ、「三河港長期構想」を公表しました。



長期構想の基本理念  
(出典：三河港長期構想)



三河港の5つの将来像と7つの目標  
(出典：三河港長期構想)

## ■中部圏水素・アンモニアサプライチェーン構築に向けた取り組み

中部圏において2050年までのカーボンニュートラル実現に向け、水素及びアンモニアの社会実装を地元自治体や経済団体が一体となって推進するため「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」(以下、推進会議)を設立し、令和6年7月に「中部圏水素アンモニアサプライチェーン計画」を策定し、11月には推進会議と中部圏で水素やアンモニア等のサプライチェーン構築を目指す企業との基本合意書を締結しました。令和7年3月には、「2030年に向けた水素アンモニアサプライチェーン推進案」を公表し、12月及び令和8年3月には、衣浦港(JERA等)と内陸の需要家が「価格差支援」及び「拠点整備支援」の認定を受けるなど、水素・アンモニアサプライチェーン構築や利活用の促進に向けた取り組みを推進しています。



中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議基本合意書締結式  
(出典：中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議HP)



水素・アンモニアサプライチェーンのイメージ  
(出典：2030年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件) (R7.3月)

## ■防災・保安

### ・港湾業務艇「しおさい」を活用した海上輸送訓練

南海トラフ地震等の大規模災害による交通寸断で陸上からの支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化(命のネットワークを形成)することを目的に、令和7年10月8日(水)、愛知県蒲郡市の西浦半島にある倉舞港において防災訓練を実施しました。

本訓練によって被災時における港湾利用の有効性を確認できたため、今後も引き続き地方自治体及び関係機関等との連携した防災訓練を実施する予定です。

#### 【訓練内容】

- ①ドローンを利用した港湾施設点検訓練  
施設状況の動画映像をリアルタイムで蒲郡市役所等へ配信
- ②港湾業務艇・港務船による倉舞港から三河港蒲郡地区間の被災者及び緊急支援物資の輸送訓練

#### 【訓練参加機関】

蒲郡市、西浦温泉旅館協同組合、愛知県三河港務所、中部地方整備局三河港湾事務所



ドローンによる港湾施設点検

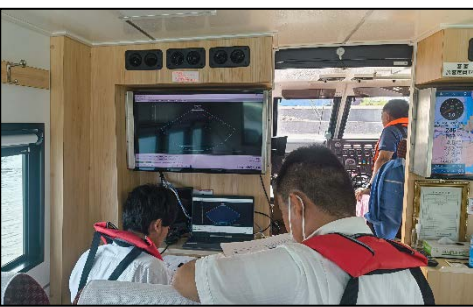


支援物資積み込み

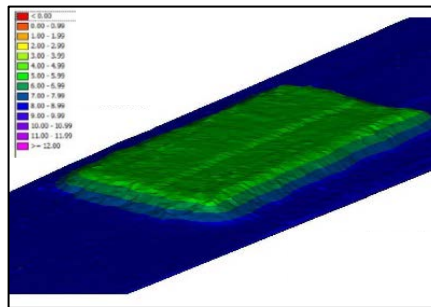
### ・ナローマルチビーム・ドローンの習熟訓練

通常業務における利活用に加え、災害時の被災情報等の収集・把握するため、UAV、ナローマルチビームの操作訓練を定期的実施しています。

今後も引き続き、定期的な訓練及び研修内容を充実させる等、継続的に実施し、各職員の熟度向上に努めます。



マルチビーム習熟訓練の様子



マルチビーム(解析)の様子



ドローン習熟訓練の様子

## ■港湾保安対策(SOLAS)

2001年9月に発生した米国同時多発テロをきっかけに改正SOLAS条約に対応した「国際船舶・港湾保安法」が成立し同法に基づき、全国の港湾にて港湾保安対策を実施しており、三河港・衣浦港で以下の対策を実施しています。

- ・フェンス、ゲート、監視カメラ等の整備
- ・制限区域の出入り管理、施設内外の監視
- ・定期的な保安訓練の実施など



# 国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所



住所	〒441-8075 愛知県豊橋市神野埠頭町1番地1
TEL	(0532)32-3251
FAX	(0532)32-5049
E-mail (代表)	pa.cbr-info- mikawa@mlit.go.jp
URL	<a href="http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/">http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/</a>
Face book	<a href="https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp">https://www.facebook.com/mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp</a>



# 衣浦港事務所



住所	〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL	(0569)21-2311
FAX	(0569)21-2312

